

(13)

(月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円 <第3種郵便物認可>

「チーム一丸で頑張る」

田辺工業生が市長に決意

全国高校駅伝

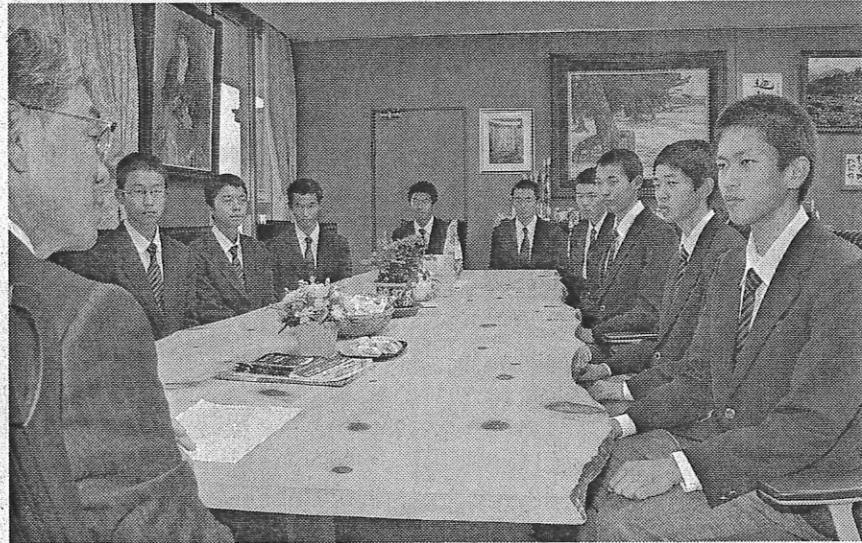
京都市で23日にある全国高校駅伝競走大会の男子の部(7区間42・195キ)に初出場する田辺工業陸上競技部の生徒9人が5日、田辺市役所を訪れ、真砂充敏市長に出場報告とともに大会への決意を語った。

田辺工業は11月の県大会で2時間9分38秒を記録して初優勝し、全国大会への切符を手にした。近畿大会でも6位に入賞した。

主将の都築勇貴君(3年)は「全国では2時間8分を切り、20位以内に入ることが目標。チーム一丸となって頑張ります」とあいさつ。他のメンバーも「応援してくれた方への感謝の気持ちを結果で返したい」「全力で走ってチームに貢献したい」などと意気込みを語った。

田辺工業の藤井歩監督(41)は「悲願の全国出場が決まり、応援していただいた方に恩返しができる。子どもたちのお

かげ」と目を細めた。真砂市長は本番のコースや日々の練習などについて生徒に質問し「駅伝は難しい競技だが、ジュニアの時から経験している人が多いと思うので頑張ってほしい」と励ました。



真砂充敏市長に全国大会出場を報告する田辺工業高校陸上競技部の生徒(5日、田辺市役所で)